

第13回「唐津CAL研究会」

全国から60人が集結

【佐賀唐津】CAL研究会は十七日と一日、唐津市のホテルで開催。全国から六〇人の参加者が梅雨の晴れ間の唐津に集結。ソーシャルディスタンスを図り、全員マスク着用の上の第二三回目の研究会となった。

同研究会は、大きく講演者が幅広く報告。「自立と相互支援」「人間中心主義」という二つの理念を掲げ、SSの逆境を強い意と笑顔で乗り越えよう」とを掲げ、

予想され、我がSS業界は感動を与え、SSを作らなければならぬと強調。常識に捉われず、道理に沿った

子延びればよいのかを、ユーモアを交えつつも、例年同様鋭い切り口で参加者を庄倒。米井哲郎智頭石油代表取締役社長は「積極的に新しいシステムに

取り組もう」と、時代の先端を見据え開発されたCALマイピットを筆頭に、カーシェア

・キヤルロケ・デマンスキ延びればよいのかを、ユーモアを交えつつも、例年同様鋭い切り口で参加者を庄倒。米井哲郎智頭石油代表取締役社長は「積極的に新しいシステムに

取り組もう」と、時代の先端を見据え開発されたCALマイピットを筆頭に、カーシェア・キヤルロケ・デマンスキ延びればよいのかを、ユーモアを交えつつも、例年同様鋭い切り口で参加者を庄倒。米井哲郎智頭石油代表取締役社長は「積極的に新しいシステムに

平岡務平岡石油店代表取締役は「平岡石油店の弛みない挑戦」と題し、会社と個人の成長が連動することが肝心。継続して小さくキラリと光る会社を永続させると決意を語る。山下真司山下石油代表取締役の「ポストコロナの時代を勝ち抜いていこう」では、今後

自動車業界のなかで車を販売することが最大の武器と熱く語った。とにかく入り口を抑えようと幾度も繰り返した。きついが「下りのエスカレーターを駆け上がれ」と結んだ。米田重富三原産業執行役員は「今こそ成功店をつくりだしていこう」とこの状況下におけるSSの動きを検証。さまざまな結果をデータで示し、コロナ禍の施策を説明した。経験のない、コロナ禍開催は、各々の心に響いた研修会だった。



講演者(スタッフ)

熱気にみちた研究会